

専門教育科目

講義科目

基本/記述

SC

授業科目名	経営分析	科目コード	配当年次	単位
担当教員	宮地 昌之	EH71	3・4	2

科目の概要

経営分析は、会社の問題を発見し解決策を見つけ出す手段である。健康診断と同様に、会社も定期的な内容をチェックする必要がある。経営分析によって経営危機を事前にチェックし、危険を回避することはできるはずである。

本科目では、財務情報などの会計データから、会社の収益性、安全性、成長性等を把握するために必要な経営分析の技法について学習する。そのうえで、財務分析、キャッシュフロー分析、損益分岐点分析、企業価値評価などを学習し、それらと実際の経営活動との関わりについても学習する。

科目の到達目標

- ① 主要な財務比率を計算して、その財務比率が示す内容から財務内容の良否を読み取るとともに、財務諸表上の数値から、資金繰り状況などの事業の実態を明らかにすることができる。
- ② 財務内容から事業の問題（売上、費用、利益の増減、資金繰りなど）の原因を明らかにして会社の全体像を把握し、会社の進むべき方向性について意見を述べるることができる。

テキスト 『経営分析を学ぶ』 田中 弘 他, 税務経理協会, 2010年

テキストの読み方

- ① 貸借対照表と損益計算書およびキャッシュフロー計算書の仕組みを理解し、経営分析は何のために行うのか、その目的を理解する。
- ② 儲けの種類を把握する。売上高利益率により何を分析するのかを知る。
- ③ 会社の成長性を把握する。また会社の損益分岐点とは何かを理解し、計算する。
- ④ 売掛債権や棚卸資産の回転率から資金が効率よく回っているか把握し、資金の流動性を短期的、長期的に見る。
- ⑤ キャッシュフローを把握し、資金繰りの重要性を理解する。また会社の労働生産性を理解する。

単位修得の方法

- ① リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。または、
- ② スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、リポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。